

- (6) 法人化について：八田常務委員長より本学会の法人化に関して、現状が説明され、他の小・中規模学協会の動向に注意しながら、対応することとなった。

3. 協議事項

- (1) 平成23年度日本粘土学会学会賞選考結果（別紙）に関して：成田委員より学会賞の選考に関して報告がなされ、以下の受賞者が承認された。
学会賞：山田裕久会員，功績賞：推薦者なし，奨励賞：伊藤弘志会員，林 亜紀会員，技術賞：後内貴胤会員，論文賞については各編集委員会に選考対象論文の推薦を依頼中。
- (2) Clay Science 印刷所に関して，八田常務委員長より説明がなされ，今後の交渉が決定された。

以上

平成23年度 第4回日本粘土学会常務委員会議事録

日 時：平成23年9月13日(火) 15:00~17:00

場 所：鹿児島大学郡元キャンパス共通教育棟3号館
322号講義室

出席者（順不同，敬称略）

井上，山田，八田，上原，岡田，河野，佐藤（努），佐藤（久），篠原，鈴木（正），高木，田村，日比野，宮脇，山崎，土信田，地下（記）

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集（篠原）：第49巻ならびに第50巻の発行報告ならびに発行予定に関して報告があった（別紙）。
- (2) Clay Science の発行・編集状況（上原）：Vol.14およびVol.15の発行報告ならびに今後の発行予定に関して報告が行われた（別紙）。また，編集委員会に関して，Clay Science の ISSN 取得をめざすにあたり，編集委員への海外会員の推薦依頼がなされた。
- (3) 会計（土信田）：平成23年度の収入・支出状況（別紙）の報告がなされた。
- (4) 行事（河野）：第55回粘土科学討論会開催に関して，登録者・懇親会参加者・見学会参加者数ならびに予算案の報告がなされた（別紙）。
- (5) 国際協力
- ① 第2回 Asian Clay（佐藤（努））：2012年度開催予定の Asian Clay の日程（2012年9月上旬の2日間を会議・1日を巡検とする・アブストラクト提出は4月を予定），会費，運営方法についての打ち合わせに関して報告がなされた。
- ② AIPEA（佐藤（努））：ニューズレターに第54回粘土科学討論会などの日本粘土学会の記事が掲載されていること，また AIPEA のホームページに日本粘土学会のホームページのリンクができていたことが報告された。

(6) 企画

- ① 標準粘土（宮脇）：標準粘土の依頼状況について報告があった。
- ② シンポジウム（田村）：第55回粘土科学討論会のシンポジウムならびに提案型セッションが予定通り開催されることが報告された。
- ③ ホームページ（岡田）：特になし
- (7) 庶務：会員の動向（山崎）：前委員会以降ならびに昨年度全般の会員の動向に関して報告があった（別紙）。
- (8) 連合等（山崎）：特になし
- (9) 事務局（土信田）：協賛・共催に関して，昨年度一年の状況について報告があった（別紙）。
- (10) その他
- ① 井上会長より，北川先生追悼集特別号を北川先生の親族への献本に関して報告がなされた。

2. 審議事項

- (1) 平成23年度決算及び会計監査について
八田常務委員長より8月末に行われた会計監査に関して説明があり（別紙），説明どおりに承認された。
- (2) 平成24年度予算案について
八田常務委員長より平成24年度の予算案についての説明がなされ（別紙），予算案どおりに承認された。ただし，次年度以降の学会予算の情勢の厳しさについて議論がなされ，対策案を考案することを第55回粘土科学討論会での総会にて井上会長から会員に説明することとなった。
- (3) 総会の議事次第について
八田常務委員長より総会での議事次第について説明がなされた。次第の部分修正が行われ，承認された（別紙）。
- (4) 法人化について
八田常務委員長より本学会の法人化について説明がなされた（別紙）。
- (5) その他
岡田委員より，本学会 Web サイトのサーバー移行について説明がなされ（別紙），移行に関する検討案を評議員会にて審議することが承認された。

3. 協議事項

- (1) 平成23年度日本粘土学会論文賞について
八田常務委員長（代理）より平成23年度日本粘土学会論文賞について，選考結果の説明がなされた（別紙）。以下の受賞者が承認された。
粘土科学：山川洋亮ほか「亜臨界水処理による石炭灰由来 Na-P 1 型ゼオライトの転換及び表面改質」
Clay Science：A.Inoue「Shape transformation of halloysite particles」
また，学会誌の論文数が増えているため，次回以降の各論文賞の個数等（現在各誌より1編）の見直

しを行うことが議論され、今後審議していくことで決定した。

- (2) その他
特になし

以上

平成23年度 第4回日本粘土学会評議員会議事録

日 時：平成23年9月14日(水) 12:00～13:00
場 所：鹿児島大学郡元キャンパス共通教育棟3号館
322号講義室

出席者(順不同, 敬称略)

井上, 成田, 山田, 八田, 會澤, 井伊, 伊藤,
上原(誠), 上原(元), 太田, 岡田, 河野,
川俣, 笹井, 佐藤(努), 佐藤(久), 志々目,
篠原, 鈴木(憲), 鈴木(正), 高木, 田村,
永田, 南條, 日比野, 福嶋, 松枝, 宮脇,
山崎, 横山, 土信田, 地下(記)

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集(篠原)：第49巻ならびに第50巻の発行報告ならびに発行予定に関して報告があった(別紙)。
- (2) Clay Science の発行・編集状況(上原(誠))：Vol.14およびVol.15の発行報告ならびに今後の発行予定に関して報告が行われた(別紙)。また、編集委員会に関して、Clay Science のISSN取得をめざすにあたり、編集委員への海外会員の推薦依頼がなされた。
- (3) 会計(南條)：平成23年度の収入・支出状況(別紙)の報告がなされた。
- (4) 行事(河野)：第55回粘土科学討論会開催に関して、登録者・懇親会参加者・見学会参加者数ならびに予算案の報告がなされた(別紙)。
- (5) 国際協力
 - ①第2回 Asian Clay(佐藤(努))：2012年度開催予定のAsian Clayの日程(2012年9月上旬の2日間を会議・1日を巡検とする・アブストラクト提出は4月を予定)、会費、運営方法についての打ち合わせに関して報告がなされた。
 - ②AIPEA(佐藤(努))：ニュースレターに第54回粘土科学討論会などの日本粘土学会の記事が掲載されていること、またAIPEAのホームページに日本粘土学会のホームページのリンクができていたことが報告された。
- (6) 企画
 - ①標準粘土(宮脇)：標準粘土の依頼状況について報告があった。
 - ②シンポジウム(鈴木(正))：第55回粘土科学討論会のシンポジウムならびに提案型セッションが予定通

り開催されることが報告された。

- ③ホームページ(岡田)：特になし
- (7) 庶務：会員の動向(山崎)：前委員会以降ならびに昨年度全般の会員の動向に関して報告があった(別紙)。
- (8) 連合等(山崎)：特になし
- (9) 事務局(井上会長)：協賛・共催に関して、昨年度一年の状況について報告があった(別紙)。
- (10) その他
 - ①井上会長より、北川先生追悼集特別号を北川先生の親族への献本に関して報告がなされた。

2. 審議事項

- (1) 平成23年度決算及び会計監査について
志々目委員より8月末に行われた会計監査に関して説明があり(別紙)、説明どおりに承認された。
- (2) 平成24年度予算案について
南條委員より平成24年度の予算案についての説明がなされ(別紙)、予算案どおりに承認された。ただし、次年度以降の学会予算の情勢の厳しさについて議論がなされ、対策案を考案することを第55回粘土科学討論会での総会にて井上会長から会員に説明することとなった。
- (3) 総会の議事次第について
八田常務委員長より総会での議事次第について説明がなされた。次第の部分修正が行われ、承認された(別紙)。
- (4) 法人化について
八田常務委員長より本学会の法人化について説明がなされた(別紙)。
- (5) その他
岡田委員より、本学会Webサイトのサーバー移行について説明がなされ(別紙)、検討案が承認された。

3. 協議事項

- (1) 平成23年度日本粘土学会論文賞について
成田委員より平成23年度日本粘土学会論文賞について、選考結果の説明がなされた(別紙)、以下の受賞者が承認された。
粘土科学：山川洋亮ほか「亜臨界水処理による石炭灰由来Na-P1型ゼオライトの転換及び表面改質」
Clay Science：A.Inoue「Shape transformation of halloysite particles」
また、学会誌の論文数が変動しているため、次回以降の各論文賞の個数等(現在各誌より1編)の見直しを行うことが議論され、今後審議していくことで決定した。
- (2) その他
特になし

以上